

≪風景 その3≫ R4.6.17

(すみません。今回はかなり長い文になってしまいました)



この写真は何の写真かわかりますか？
かなり難しい質問かと思えます。校庭でカラオケで
もしているのかしら？とも、見えますが…
違うのですねえ。

これは、運動会を終えたあと、子どもたちから「リレー
をやりたい」という声上がり、児童会がそれに応えて
学年別のリレーを企画してくれ、その走りを伝えている
T君の姿です。

初日は6年生だったのですが、
その走っている友だちを、おもちゃのマイクを使って、一心不乱にアナウンス
しているT君。

もちろん、私は走っている子どもたちに熱い声援を送らせていただきまし
たが、T君が私の眼に飛び込んだ瞬間、私はT君の姿にくぎ付けとなって
しまい、思わずパチリ

なんで、誰にも聞こえないマイクで、あんなに一心不乱にアナウンスしているんだろ
う??? どんな気持ちで解説しているんだろう???

気になって、気になって仕方ありません。

そして、数日後にT君に尋ねることができたのでした。

わたし「どうしてアナウンスしようと思ったの」

T君「みんな一生懸命走っていて、カッコいいと思って」

わたし「ふーん。でもさ、あれ、おもちゃのマイクで誰にも聞こえないじゃない?なの
にどうして…」

T君「誰にも聞こえなくても、心で伝わるっていうか・・・みんなの頑張りを、とに
かく伝えたかったから」

わたし「そうかあ」 (- “” -)

このように、インタビューできても、私にはなかなか理解できない。T君の心をここまで突き動か
すものが何なのか、悔しいけれど、今の私にはわからないのでした。



S先生がこんな話をしてくれました。

下校時、突然の激しい雨。2年生のK君と

K君「雨、さいあく」

S先生「でもさ、野菜はよろこんでいるかもよ」

K君「でも、**かけすぎ**じゃねえ」

この“**かけすぎ**”という言葉がS先生の心に留まったそうです。

“かけすぎ”そう、雨は誰かの手で、この地球に降り注がれている。そんなステキな発想に心奪われたのですね(加えて、こんな感性をお持ちのS先生もK君共々ステキだなと思います)。